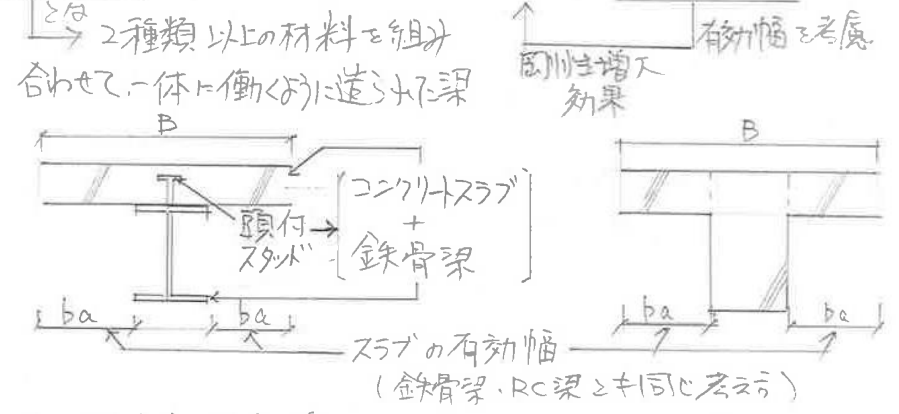


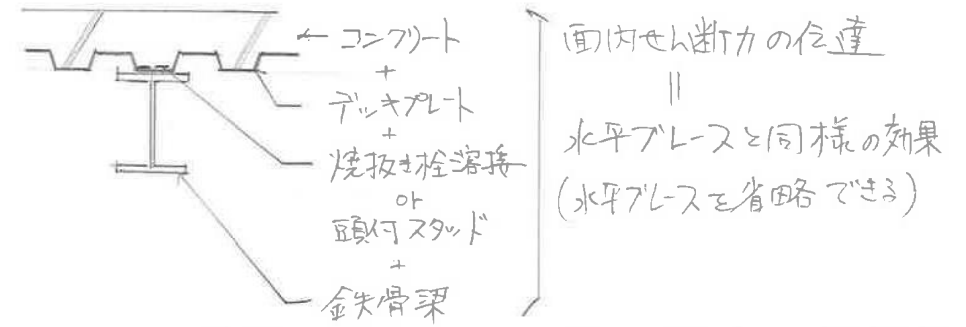
平成29年No.23 合成構造及び混合構造

1. 合成梁の曲げ剛性 → 床スラブの有効幅を考慮する (鉄筋コンクリート梁と同じ考え方)
2. テッキ合成スラブ → 面内せん断力の伝達が可能
3. コンクリート充填鋼管 (CFT) 構造の柱 → 塑性変形能力や耐火性能が高い
4. 鉄筋コンクリート構造のコア壁を耐震要素とした構造計画 → 鉄骨構造と組み合わせる事で大スパン化が可能

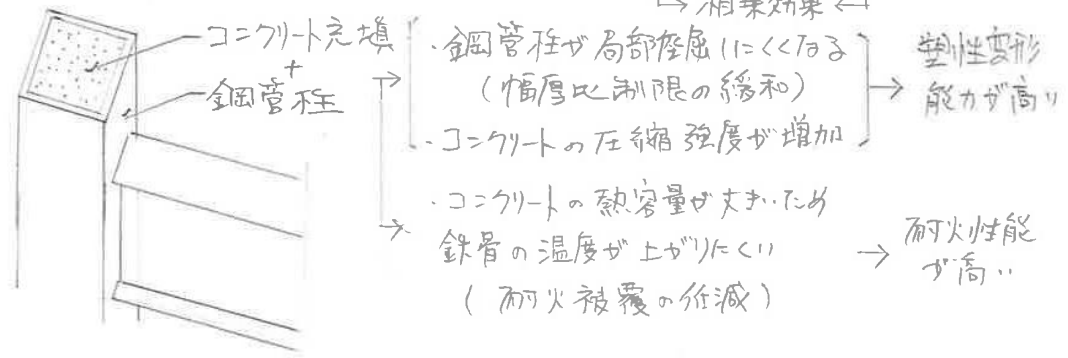
① 合成梁の曲げ剛性 → 鉄骨梁+コンクリートスラブ



② テッキ合成スラブ → テッキプレート+コンクリート



③ コンクリート充填鋼管 (CFT) 構造の柱 → 鋼管柱内にコンクリートを充填した構造



④ 鉄筋コンクリート構造のコア壁を耐震要素とした構造計画

